

令和6年度 市民生活部長「政策宣言」達成状況

市民生活部長 長谷川 寛和

○ 令和6年度重要事業

事業名	多様な人材が活躍できる環境づくりの推進
目 標	協働と共創のまちづくりを進めるため、まちづくりに関する情報提供や情報交換、まちづくりに関する課題などを共有できる「まちづくりラボ」を実施し、地域活動の活性化と多様な主体との連携推進を図るほか、互いの文化や価値観の相互理解を深め、多文化共生の地域づくりに取り組みます。 また、台北市士林区との友好提携5周年記念式典の開催等、友好・姉妹都市と幅広い分野での交流促進を図ります。
年 度 末 達 成 状 況	まちづくり活動をしている団体等がつながる場として「まちづくり談話室」を毎月1回開催し、地域活動の活性化と多様な主体の連携を推進したほか、多様性を認め合い尊重できる社会の実現を目指すため「ダイバーシティ講演会」を開催しました。 また、台北市士林区から訪問団を迎えた友好提携5周年記念式典において、更なる友好の絆の強化と幅広い交流の推進について互いに確認しました。
自 己 評 価	引き続き、多様な主体による協働と共創のまちづくりを推進するとともに、性別や国籍に関わらず、地域に住む全ての人が多様な価値観を認め合い、自分らしく暮らせるまちづくりに取り組みでまいります。

事業名	持続可能で利用しやすい公共交通の推進
目 標	持続可能で利用しやすい公共交通の実現を目指し、A I オンデマンドバス「のるーと射水」の運行エリア拡大に取り組むほか、引き続き、高齢者等の近距離移動手段の確保の取組に対する支援や、越中大門駅のバリアフリー化に取り組みます。
年 度 末 達 成 状 況	A I オンデマンドバス「のるーと射水」について、本市北東エリアにおいて、令和6年9月からの実証運行を踏まえ、令和7年4月から本格運行を開始します。 また、高齢者等の近距離移動手段の確保に支援したほか、越中大門駅のバリアフリー化に係る詳細設計を行いました。
自 己 評 価	出前講座や各種取組を通じ、地域公共交通の利便性向上に努めました。 今後は、「のるーと射水」の他エリアへの拡大や越中大門駅へのエレベーター設置工事に着手するなど、引き続き、持続可能で利便性の高い地域公共交通の実現に努めます。

事業名	被災家屋等の適切な処理
目標	令和6年能登半島地震により被害を受けた被災家屋等について、市が所有者に代わって公費で解体・撤去を行い、被災家屋等の倒壊による二次被害の防止並びに生活環境の保全及び公衆衛生の向上を図ります。
年度末達成状況	令和7年3月末時点で、公費解体は対象見込み120件のうち100件（約83％）の解体工事に着手し、64件（約53％）の解体が完了しています。
自己評価	引き続き、迅速かつ適正に事業を進め、令和7年9月末までの事業完了を目標に進めてまいります。